

令和4年度体験型英語研修@Tokyo Global Gateway 体験レポート

Tokyo Global Gateway(以下 TGG)とは、日常から離れ、海外をイメージして作られた仮想の街並みや施設で、グローバルな世界を存分に体験することができる、体験型英語学習施設です。

入館から退館に至るまでのおおよそ7時間、TGG で英語だけで行われた研修で、学生はどのような体験をしたのでしょうか。このレポートでは、学生の研修内容の1部をご紹介します。

(概要)

日時:3月24日(金)9時~15時55分

場所:Tokyo global gateway(お台場)

参加人数:7名(美術学部1名、大学院美術研究科4名、音楽学部1名、大学院音楽研究科1名)

(プログラム内容)

1. 最初に、参加学生 7 名を2チームに分け、各チームに Agent と呼ばれる Native Speaker が付きチームビルディングを行いました。
2. チーム毎に Agent にインタビューを行い、Agent が知りたい日本の場所や文化等について聞き取った内容を英語で整理し、プレゼンテーションを行いました。各々の興味を共有することができ、良い Break Down ができました。



3. 留学先の大学オフィスを模した場所では、学校生活に関連する手続きについて尋ねたり、イベント参加の申し込みを行ったりしました。



「ブックストア」、「カフェ」、「ドラッグストア」では、物品の購入や、飲食の注文の仕方といった、日常生活で頻繁に行われる英語のやりとりを学びました。

4. 和室では、日本文化をいかに分かりやすく英語で外国の方々へ伝えるか、風呂敷の活用方法等を例に実際に行いながら学びました。



5. 最後に、各々のグループで、研修で習得した学びを確認しました。



(参加学生からの感想)

- また機会があれば、参加させていただきたいと思います。
- このような体験型学習が一番語学力の向上に直結すると思う。机の上での勉強も非常に大事だが、藝大生など制作に時間を費やさなければならなかったり、勉強に苦手意識がある人たちにとっては、一回で記憶に残るような体験型の学習が望ましい。ぜひこれからこうした取り組みが積極的に大学に導入されてほしい。
- 素晴らしい研修に、無料で参加させてくださり、ありがとうございました。実際にある設定の中で勉強できたので（その設定がとても凝っていてとても楽しかったです！（キッザニアに行った気分でした））勉強になり、また少し自信につながりました。感謝申し上げます。
- 今回の体験型研修は、恥ずかしがらずに英語を使え、間違いがあればその場でネイティブから教えて頂ける貴重な機会でした。大変勉強になりましたし、心から楽しませて頂きました。また機会がございましたら是非参加させて頂きたいと思っております。大変お世話になりました、ありがとうございました。